

令和7年 労働者死傷病報告受理状況

平塚

労働基準監督署

(9月末現在)

業 種	当 年 (令和7年)	前 年 (令和6年)	増減数	増減率
01 食料品製造	6 (1)	9	-3 (1)	-33.3%
02 繊維工業				-
03 衣服その他の繊維	4	2	2	100.0%
04 木材・木製品				-
05 家具・装備品	1	1		
06 パルプ等	2	1	1	100.0%
07 印刷・製本		1	-1	-100.0%
08 化学工業	13	14	-1	-7.1%
09 窯業土石	5	2	3	150.0%
10 鉄鋼業	2	3	-1	-33.3%
11 非鉄金属	1	2	-1	-50.0%
12 金属製品	7	11	-4	-36.4%
13 一般機械器具	2	6	-4	-66.7%
14 電気機械器具	4	3	1	33.3%
15 輸送機械製造	10	5	5	100.0%
16 電気・ガス				-
17 その他の製造	5	6	-1	-16.7%
01 製造業小計	62 (1)	66	-4 (1)	-6.1%
02 鉱業小計				-
01 土木工事	13	11	2	18.2%
01 鉄骨・鉄筋家屋	7	5	2	40.0%
02 木造家屋建築	2	3	-1	-33.3%
03 建築設備工事	1	4	-3	-75.0%
09 その他の建築工事	2	11	-9	-81.8%
02 建築工事	12	23	-11	-47.8%
03 その他の建設	5	6	-1	-16.7%
03 建設業小計	30	40	-10	-25.0%
01 鉄道等	1		1	-
02 道路旅客	13	5	8	160.0%
03 道路貨物運送	37 (1)	34	3 (1)	8.8%
04 その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	51 (1)	39	12 (1)	30.8%
01 陸上貨物	12	9	3	33.3%
02 港湾運送業				-
05 貨物取扱小計	12	9	3	33.3%
01 農業	2		2	-
02 林業		2	-2	-100.0%
06 農林業小計	2	2		
01 畜産業	1		1	-
02 水産業		1	-1	-100.0%
07 畜産・水産業小計	1	1		
01 卸売業	10	4	6	150.0%
02 小売業	52	47 (1)	5 - (1)	10.6%
03 理美容業		1	-1	-100.0%
04 その他の商業	4	1	3	300.0%
08 商業	66	53 (1)	13 - (1)	24.5%
01 金融業	1	1		
02 広告・あっせん				-
09 金融広告業	1	1		
10 映画・演劇業				-
11 通信業	10	9	1	11.1%
12 教育研究	2	8	-6	-75.0%
01 医療保健業	26	37	-11	-29.7%
02 社会福祉施設	40	73	-33	-45.2%
03 その他の保健衛生				-
13 保健衛生業	66	110	-44	-40.0%
01 旅館業	3		3	-
02 飲食店	24	14 (1)	10 - (1)	71.4%
03 その他の接客	10 (1)	11 (1)	-1	-9.1%
14 接客娯楽	37 (1)	25 (2)	12 - (1)	48.0%
15 清掃・と畜	17	15	2	13.3%
16 官公署				-
01 派遣業				-
02 その他の事業	7	16	-9	-56.3%
17 その他の事業	7	16	-9	-56.3%
合 計	364 (3)	394 (3)	-30	-7.6%

各欄左側の数字は休業4日以上死傷者数、右側()内は死亡者数(内数)